GLOBALBASEの開発

森 洋久

joshua @ globalbase.org

2007-11-04 版

目 次

第1章	はじめに	2
1.1	目的と概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1.2	このマニュアルを読むために必要な知識	2
1.3	前提となるシステム用件	2
1.4	sourceforge.jp における GB のホームページ	2
1.5	開発への参加までの流れ....................................	3
1.6	開発の流れ	3
第2章	Posix,MacOSX(ssh キーの作成方法)	4
2.1	概要	4
2.2	この作業の前提となるシステム用件..................................	4
2.3	.ssh ディレクトリがあるか確かめます。	4
2.4	キーを生成します。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2.5	sourceforge.jp へ登録する。	6
2.6	登録完了のチェック....................................	7
第3章	Windows-ツールのインストール (PuTTY)	8
3.1	概要	8
3.2	PuTTY のダウンロード	8
3.3	PuTTY の解凍インストール	9
3.4	スタートアップメニューにツールを追加する..............................	10
第4章	Windows-公開鍵の登録 (PuTTYgen)	14
4.1	概要	14
4.2	公開鍵の設定	14
4.3	公開鍵の sourceforge.jp への登録	15
第5章	Windows-ツールのインストール (TortoiseCVS)	17
5.1	概要	17
5.2	TortoiseCVS のダウンロードとインストール	17
5.3	公開鍵の登録	17
5.4	TortoiseCVS の初期設定	17
5.5	ダウンロードモジュールの作成	18
5.6	モジュールの操作....................................	18

第1章 はじめに

1.1 目的と概要

GLOBALBASE の開発に何らかの方法で関わりたい場合に必要な様々な情報を提供します。

1.2 このマニュアルを読むために必要な知識

プログラミングを行ったことがあること。

1.3 前提となるシステム用件

Macintosh, Windows, Posix 系 PC いずれか。

1.4 sourceforge.jp における GB のホームページ

GLOBALBASE の開発環境は、 sourceforge.jp (http://sourceforge.jp/) の機能を利用させていただいて います。 そのうち重要なページを以下に列挙します。

1. GLOBALBASE のホームページ

(http://sourceforge.jp/projects/globalbase)

sourceforge.jp 上の GLOBALBASE の機能はここからたどることができます。

2. ソースコードリポジトリ

(http://sourceforge.jp/cvs/?group_id=436)

CVS の内容が見ることができ、ソースコード一式をここからダウンロードすることもできます。

3. GLOBALBASE 関連公開メーリングリスト

(http://sourceforge.jp/mail/?group_id=436)

これらのメーリングリストに参加する場合は基本的に私、森宛でご一報ください。メールアドレスは joshua @ globalbase.org です。 ソフトウエアの更新状況などを把握したい場合は、sf.jp の各ページ についている RSS の機能を利用することをお進めします。

4. GLOBALBASE 統計情報

(http://sourceforge.jp/projects/globalbase/stats/)

GLOBALBASE のダウンロード数などの東経情報を見ることができます。

1.5 開発への参加までの流れ

GLOBALBASE の開発への参加までの流れは以下のようになります。

1. sourceforge.jp でアカウントとる。

sourceforge.jp のホームページ (http://sourceforge.jp/) であなた自身のアカウントを作成してくださ い。画面右上に「ログイン・アカウント作成」というボタンがあります。ここでしかるべき手続きを 行えば、sourceforge.jp のアカウントが取得できます。

2. ハンドルネームの GLOBALBASE への登録

アカウント情報のなかで、「ネットワーク上の名前(ハンドル,公開されます)」を私森へ通知してく ださい。。こちらで登録作業を行います。登録が完了しましたら、その旨を通知します。

私のアドレスは joshua @ globalbase.org です登録の前に、どのような開発をしていただくのか若干い ろいろお伺いすると思います。もし、開発というよりは他の方法で解決できるような話であれば別の 方法お進めすることになるかもしれません。しかしながら、我々はいつでも仲間を歓迎しますので、 遠慮せずにどんどん質問、参加希望を出していただければありがたいと考えています。

3. ssh キーの作成

あなた自身の ssh キーを作成し登録します。キーの作成方法は、あなたの使う開発環境となる PC が Windows であるかないかによって異なります。Windows でない場合、Macintosh も含めて基本的に Posix 系の開発環境なので、ssh-keygen ツールが使えます。Windows の場合は様々な方法が考えられ ますが、我々は PuttyKeyGen ツールを使っています。PuttyKeyGen は PuTTY (3節) や、その後の 開発で利用する TortoiseCVS (5節) にバンドルされています。それぞれのソフトウエアのインストー ル、使い方については別章を設けましたのでそちらを参照してください。

4. ssh キーの登録

作成したキーを登録します。登録はいったん (http://sourceforge.jp/) より、ログインし、アカウント 管理ページより、作成した ssh キーを登録します。

以上で GLOBALBASE の開発に参加することが出来るようになります。

1.6 開発の流れ

ソフトウエアの開発については、CVS よりソースコードをチェックアウトし、変更、テストをおこなったあと、コミットする。という作業となる。したがって、ここで CVS の基本的な操作方法について理解しておく必要がある。CVS のドキュメントについては、インターネット上にもたくさんあり、たとえば、以下のようなサイトを参照されたい。

• バージョン管理システム CVS を使う (http://radiofly.to/nishi/cvs/)

CVS ツールに関しては、posix 系のマシン Linux,FreeBSD,Macintosh などではすでにインストールされている場合が多い。Solaris はひょっとすると、NSUG あたりをインストールする必要があるかもしれない。

Windows 系では、CVS ツールをダウンロードしインストールする必要がある。我々では TortoiseCVS (http://tortoisecvs.bluegate.org/)を使っている。この他にも CVS ツールはいろいろあるので、なれたもの がある人はそれを使っていただきたい。このマニュアルでは TortoiseCVS のインストール方法を紹介する。

第2章 Posix,MacOSX(sshキーの作成方法)

2.1 概要

Posix および MacOSX における ssh キーの作成方法と登録方法について解説します。

2.2 この作業の前提となるシステム用件

用意しなければならないものは特にありません。ssh 関連の posix コマンドを使ってキーを生成します。 MacOSX の場合、「ターミナル」を立ち上げる必要があります。ディレクトリ「アプリケーション:ユー ティリティー」にありますのでこれをダブルクリックで立ち上げます。

2.3 .ssh ディレクトリがあるか確かめます。

まず、自分のホームディレクトリ直下に、.ssh があるか確かめます。存在しない場合は、ディレクトリを 作ってください。

\$ cd ~
\$ mkdir .ssh
\$ chmod 0700 .ssh

[注意]

ディレクトリのアクセス権限は、0700 である必要があります。つまり自分のみが実行、読み出し、 書き込みができること。

2.4 キーを生成します。

コマンド ssh-keygen によってキーを生成します。

\$ ssh-keygen Generating public/private rsa key pair. Enter file in which to save the key (..../.ssh/id_rsa): [エンターを入力] Enter passphrase (empty for no passphrase): [パスフレーズを入力] Enter same passphrase again: [もう一度同じパスフレーズを入力] Your identification has been saved in/.ssh/id_rsa) Your public key has been saved in/.ssh/id_rsa.pub) The key fingerprint is:

```
89:fc:71:62:a7:2f:7e:e8:c2:a9:3a:11:0b:de:25:61 upa005@j7.globalbase.org
$
```

ここで、.sshの中に、id_rsaという秘密鍵と、id_rsa.pubという公開鍵が生成されているはずです。

[注意]

id_rsa は人に見せないようにしましょう。これを得た人はあなたのアカウントに成り済ますことができてしまいます。

ここでは特別に実際中身を見てみると、秘密鍵の中身は、

\$ cat id_rsa -----BEGIN RSA PRIVATE KEY-----Proc-Type: 4,ENCRYPTED DEK-Info: DES-EDE3-CBC,56C9C74661B99C64

T3FtsWK1PFK4iztTjhWB0Xuy3+2s9RlrMrZ2MphRS19LsuahYThoDd/+dppNApef JRTaSfAiLvJI2xrTj/NE7jdXkDgNDOe2puNujdQTdycPZhJR3dyQeU46eqbxfycz F9++R0KN4VS08c1VHgqL1YkQmvVUeCqem3/e2Wpdo2kGv5YvC0Bthz48ZN0topb8 dLBAPsFulNbkwaZARGm7u9lTjf0/I/8PiSCeRphcvmhwel/1B8RokGi4mfg3mtzb SN/020svhUTguF60Kxd5vbRKcwY6bI1bFs7quvweQ5j1TLx3xnYSQXCk60nB3T2Y nDOxyagcspWR9doiBQD67zg3mZ02ekF0a6qSsiCOntEwseZGeFL3fg42DRb+TgsK yDqamIpQb7nGinaG8ZVwaQ5ZWO+aO9RcZf5dke/1gnCAY17JEnQkL1cIezYfSFWQ xxDf5NfUm03G+qJJ1MUhOhRBwA43NxXpo4CUXVWZOdB7vmWv2XvdqIqZXZ4kAvu6 Ewr4nvq6mkNyOO3m9o/wCHQ+5XiLL7J1gF3Vbq7Lmo/8948KGO/bDFoX/ABq5G8V Thzb8tBHFxrsS5aSelmF3MWCeSz+Ca8wP80Fp2G3Ch3U9eq5rG31Yzn46sa/m3wN G66iycMHJvbAnv6QpfCtS5pPeHbrYb9lcsHxKp8dXWs115ezElWdzno3Jb+NfJM4 90CpPwRS9wdCrQLRbrcJ/6evniFcTWDSLfy51oTaP1yUES4104n0w0IbQJwi2XLA vdctibYO4xMnACJm4i4DJwLzCLDUBGxZke9wYTvUL6SsUXM3Hx33fYYXC6L8vnko +VggM4MgATtPjNnnvLTHnN6dC/Iugn/61p7KPbzIRNh5suRoenkKCpi8ozbzfRnj pdRJkOk8qFcQY+8FH11xPxSp1/WLhxzAeg9GtEARTA+JWU1tadZqxV34QG1RcGL2 QSYEoQ91WFon/eg09bNMC05erj213U9GdG1ULA48fufWXTtDNEoLsp60ExHZvuEP u7hjZJ8R0ZvFE+vPmldZo03KLAjNNq3fnRAw02JIchb6SRIrZP/xgsHB2fY2gco9 BboF79mptEwt3JbT0xztxraExb7pCKkJ23qqd3U7AuTqUdqsq49W0JJ0eJpvwDJC LL6gunagbTVL+qw2SQ+1KDKvrh08r3EgmJUXNaKrmWFnsWTv0baeqEAxeaMCdYKv dfw5sird0CRFlJmo+6GW74cqgP4qfb4KNFFMoBq5EiJKMNisMevZ0JvDuCL4WPlc ChilGqxh8sAmuvT2t40W5HbHE4wPjbhjZBTJowDBtOt/Yb6Hew/wHF3+/LA9DmHN Zz08hnXoggVJVonQ8A2L0XMJgC4ILB3R8uA03IACCHjEsbbkSZHJfQBMpzNt3b5v 97aKc6J8DRrYwmXAGZifHp91KVqcNe4v3gcaqDwTTWoRSI1f9MWGE9rGk3KJ1Eza n96x/zznZkzGA3PAhPalSmwZcUQaC1wffeZcaqC86g+beTtDxajR/FrODgCQQ921 H1Cl1lXaGZQYpZ3eK69rCAWbNqodfGE5F21y/RS86nOlA9X4plamLeObXF0SgWUC ----END RSA PRIVATE KEY-----

公開鍵の中身は、

```
$ cat id_rsa.pub
$ ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAQEA/HVKqC3hS4vWioONW6lSmizsnu/faW/KT2uC/3Qcq6nill9mX/ObrIkqBUq
$
```

となっています。

2.5 sourceforge.jpへ登録する。

sourceforge.jp ヘログインします。「アカウント管理」メニューからアカウント管理へとびます。 画面の 下の方に「鍵の編集」というリンクがありますので、それをクリックします。場所について 図 2.1 に示し ました。 ここに id_rsa.pub の中身を書き込みます。

\varTheta \varTheta SourceF	orge.jp: Account Maintenance	
🛶 🔹 🕐 🗹 🥑 🛞 🏠 🥥 http://sourceforg	ge.jp/account/ 🔹 🕨 🏋 Yahoo! JAPAN 🔍 🐇	
OSDN: Slashdot - Open Tech Press - イベント - RSS OPEN TECH PRESS	・広告掲載 ひまき ソフト/グループ ・	
SOURCEFORGE.JP	ua マイ・ページ アカウント管理 ブックマークに追加 日記とメモ ログアウト	
ニュース 新規リリース トップ	プロジェクト ソフトウェアマップ ヘルプ サポート 新規プロジェクト	
アカウント管理		
joshua さんのアカウント管理		
す。 アカウントの削除方法、その他何か分からないことがあれば アカウントFAQを参照してください。 開発者プロフィールを表示 技術プロフィールを編集 プリファレンス		
登録日:	2003-02-04 22:55	
ユーザID:	3883	
ログイン名:	joshua [パスワードの変更]	
ネットワーク上の名前(ハンドル,公開されます):	Hirohisa Mori	
使用言語:	Japanese 💌	
タイムゾーン:	Asia/Tokyo	
	josnua@globalbase.org [メールアトレスの変更]	
案内メール: 🔽	SourceForge.jp サイトアナウンスメールを受け取る (流量はわずかでセキュリ ティのお知らせもあるので受信を推奨)	
v.	その他のアナウンスメールを受け取る (流量はわずか)	
その他: □	私のことを憶えておいてね (<i>ログインせずにあなたのマイ・ページにアクセスで</i> <i>ぎるようにします。設定を変更するには、ログインしないといけません。</i>)	
<u>更新</u> <u>シェルアカウント情報</u> CVS/SVN/SSHで共有する公開鍵 5 [鍵の編集] Copyright (C) 2007 - OSDN / Open Source Develop SourceForge.jpについて プライパシーポリシー 利用	ment Network, All Rights Reserved. 规約 個人情報保護方針 広告掲載 人材募集 連絡先	
完了	1	

図 2.1: 鍵情報の位置

最後に「更新」ボタンをおして登録完了です。

[注意]

「鍵の編集」ページにはテキストボックスがあるので、id_rsa.pubの中身をカットアンドペースト で書き込みます。鍵の文字列の途中には改行が入ってはなりません。そして最後には改行をつけま しょう。

2.6 登録完了のチェック

登録がうまく行ったかどうかは、shells.sourceforge.jp ヘアクセスできるかどうかで確かめることができます。

\$ ssh joshua@shells.sourceforge.jp The authenticity of host 'shells.sourceforge.jp (202.221.179.26)' can't be established. RSA key fingerprint is 15:22:46:69:9f:ac:14:68:8a:be:f1:e4:29:7c:a9:51. Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes Warning: Permanently added 'shells.sourceforge.jp,202.221.179.26' (RSA) to the list of known how Enter passphrase for key '/Users/upa005/.ssh/id_rsa': Last login: Fri Jun 8 16:23:37 2007 from 221x241x27x229.ap221.ftth.ucom.ne.jp joshua@sf-usr-shell:~\$

というかたちでログインできれば登録成功です。

[メモ]

(http://sourceforge.jp/projects/sourceforge/docman/) に詳しいドキュメントがあるので参照して ください。

第3章 Windows-ツールのインストール (PuTTY)

3.1 概要

ウィンドウズでは ssh による暗号の生成とターミナルとしてつかう PuTTY、および、CVS クライアントの機能を提供する TortoiseCVS をインストールする必要がある。この節では、PuTTY のインストール について述べる。

3.2 PuTTYのダウンロード

PuTTY の最新版を、 (http://www.chiark.greenend.org.uk/šgtatham/putty/download.html) よりダウ ンロードしましょう。A Windows installer for everythings あるいは、A .ZIP file containing all the binaries といったパッケージがよいでしょう。

ダウンロード先は、C:verb+|+|Program Files として、保存。

[注意] 実行はしないようにしてください。



図 3.1: PuTTY の保存 (1)



図 3.2: PuTTY の保存 (2)

ダウンロードの完了		
受けつ 保存しました the.earth.li - putty.a	コードの完了 :ip	
Mark and In		
タワンロード: ガウション ドサ・	U.99 MBを2秒 CMDusensery FilesVeruttureis	
タリノロートカ: 転送率:	507 KD /\$4	
■AIC平· ■ダウンロードの完 ⁻	307 KB/152 了後、このダイアログ ボックスを閉じる(C)	
(ファイルを開く(O) フォルダを開く(F)	開じる

図 3.3: PuTTY の保存 (3)

3.3 PuTTYの解凍インストール

ファインダで、マイ コンピュータ¥ローカルディスク¥Program Filesを開き、putty または、putty.zip という(圧縮)ディレクトリを右クリックします。「すべて展開」メニューを選び、展開します。

[チェック]	
解凍された中身に 図 3.6 のように、	putty,puttygen があることを確認してください。



図 3.4: PuTTY の圧縮ディレクトリ

3.4 スタートアップメニューにツールを追加する

最低限、puttyのアイコンと puttygen を登録しましょう。 これらのアイコンを右クリック「[スタートメニュー] ヘアイコンを追加」を選択。最後にスタートメニューにアイコンがあることを確認すること。



図 3.5: PuTTY の解凍、インストール



図 3.6: PuTTY の中身



図 3.7: スタートアップメニュー

第4章 Windows-公開鍵の登録 (PuTTYgen)

4.1 概要

ここでは、PuTTYgenを使って公開鍵を生成し、sourceforge.jp に登録する方法を述べます。PuTTYgen は PuTTY (3節) および、 TortoiseCVS (5節) にバンドルされているので、単独でのインストールは特に 必要ありません。

4.2 公開鍵の設定

まず、公開鍵の生成と設定を行います。鍵の生成は PuTTYget というツールで行います。「スタート」メ ニュー「すべてのアプリケーション」の中に、このアプリケーションがない場合は、TortoiseCVS のディレク トリの中から探すことができます。C:verb+|+|Prigram Filesverb+|+|TortoiseCVS の中に、puttygen.exe あり。これをスタートアップメニューに追加してください。

次にこのソフトウエアを起動すると図 4.1 のようになります。

🚏 PuTTY Key Generator		
<u>F</u> ile <u>K</u> ey Con <u>v</u> ersions <u>H</u> elp		
Кеу		
Public key for pasting into OpenSSH authorized_keys file:		
ssh-rsa AAAAB3NzaC1 vc2EAAAABJQ AAAIEAljON1 ER7i4l2rahDAT2zi6Z/S5bWCvGO VDn tYP	siK 🔼	
Ryint9T/EiXz6dDDU2WYcQisO2QGOiAdgfBsTDYgA5gM/a2cY/JAida4km1h6HmvGko/ 9Ta26cCBbY26EcoW544E50K14t2turyYG5bNCKTydBcPtM4HiS2cQaapOEk7k= xca-kaa	Åe 🖉	
20070910		
Kely fingerprint: ssh-rsa 1 024 76:o3:e1:82:24:12:ob:5a:43:76:02:a2:2e:o8:7d:72		
Key comment: rsa-key-20070910		
Keypassphrase:		
Confirm passphrase:		
Actions		
Generate a public/private key pair Generate		
Load an existing private key file		
Save the separated key		
Parameters		
Type of key to generate:		
Number of bits in a generated key:		
Total and a generated region		

☑ 4.1: PuTTY gen

Parameters の部分が SSH2 RSA になっていることを確認してください。次に、Generate (生成)ボタン を押すと、ウィンドウ上部に空白部分が現れ、この部分でマウスを動かすと、マウスの動きを利用した乱数

が生成され鍵が生成されます。操作が終了すると、Public key for pasting into Open SSH authorized_keys file: という部分に、公開鍵が表示されます。これをまず、ワードパッドなどにコピーしましょう。

一方、Actionsの欄にある、「Save private key」というボタンを押すと、プライベートキーが生成され保存されます。保存するファイル名、ディレクトリを聞いてくるので、ここでは、

C:\proj\cvs\cvs.m\private.ppk

に保存することにします。

4.3 公開鍵の sourceforge.jp への登録

sourceforge.jp ヘログインします。「アカウント管理」メニューからアカウント管理へとびます。 画面の 下の方に「鍵の編集」というリンクがありますので、それをクリックします。場所について 図 4.2 に示し ました。

4.2 節でワードパッドなどに保存した公開鍵をここへコピーします。 最後に「更新」ボタンをおして登録完了です。

[注意]

「鍵の編集」ページにはテキストボックスがあるので、公開鍵をカットアンドペーストで書き込み ます。鍵の文字列の途中には改行が入ってはなりません。そして最後には改行をつけましょう。

\varTheta 🔿 🔿 Sourcel	Forge.jp: Account Maintenance 🤤
🖕 🛛 🚽 🕑 📀 👫 🥥 http://sourcefor	rge.jp/account/ 🔹 🕨 🏆 🛛 Yahoo! JAPAN 🔍 🐇
OSDN: Slashdot - Open Tech Press - イベント - RSS	S-広告掲載 検索: ソフト/グループ _ (
	a and Opper Diversion and a Solition (Diver System) and a
Upen Sou	rce, Upen system news and Upen discussion
PRESS	and Oper the amion Open Source Open System News 11
SOURCEFORGE.JP	nua。マイ・ページ、アカウント管理フックマークに追加。日記とメモ・ログアウ
ニュース 新規リリース トップ	プロジェクト ソフトウェアマップ ヘルプ サポート 新規プロジェクト
アカウント管理	
joshua さんのアカウント管理	
ようこそ、Hirohisa Moriさん	
ここでは、めなたのアカワント情報を表示/変更できます。	9。また、めなたの開発者/指導者としてノロノイールを表示することもできま
アカウントの削除方法、その他何か分からないことがあ	うれば アカウントFAQを参照してください。
開発者プロフィールを表示	
技術プロフィールを編集	
プリファレンス	
- 登録日: 	2003-02-04 22:55
ログイン名:	joshua [パスワードの変更]
ネットワーク上の名前(ハンドル,公開されます):	Hirohisa Mori
使用言語:	Japanese 💌
タイムゾーン:	Asia/Tokyo
メールアドレス:	joshua@globalbase.org [メールアドレスの変更]
案内メール: 🔽	- SourceForge.jp サイトアナウンスメールを受け取る (流量はわずかでセキュリティのお知らせもあるので受信を推奨)
v	~~の他のアナウンスメールを受け取る (流量はわずか)
その他: □	 私のことを憶えておいてね(ログインせずにあなたのマイ・ページにアクセスで きるようにします。設定を変更するには、ログインしないといけません。)
■新 リセット	
シェルアカウント情報	
CVS/SVN/SSHで共有する公開鍵 5 [鍵の編集]	
Copyright (C) 2007 - OSDN / Open Source Develor	pment Network, All Rights Reserved.
SourceForge.jpについて プライバシーポリシー 利用	月規約 個人情報保護方針 広告掲載 人材募集 連絡先
宗 了	
703	

図 4.2: 鍵情報の位置

第5章 Windows-ツールのインストール (TortoiseCVS)

5.1 概要

Windows で有用な CVS ツールとして TrtoiseCVS がある。これのダウンロードとインストール、設定方法を解説する。

5.2 TortoiseCVSのダウンロードとインストール

TortoiseCVS のホームページ、(http://tortoisecvs.bluegate.org/)よりダウンロードすることが可能で す。(http://tortoisecvs.bluegate.org/download.shtml)の安定版をダウンロードしましょう。これは実行 ファイルになっていますが、デスクトップに保存後、実行すると、インストーラが立ち上がります。とりあ えずすべて、デフォルト・オプションでインストールします。

5.3 公開鍵の登録

TortoiseCVS でソースコードにアクセスするためには、公開鍵が sourceforge.jp に登録されていることが 必要であり、また、対応する秘密鍵を TortoiseCVS に設定する関係上、鍵が既にあるかを確認してくださ い。ない場合は、ここで鍵を生成します。鍵の生成方法は、4節を参照してください。PuTTYgen 自体は、 TortoiseCVS のプログラムファイルにバンドルされているので、PuTTY がインストールされていなくと も、それを参照することができます。

5.4 TortoiseCVSの初期設定

[UNDEF REF (fig-tortoiseCVS-proferences)] は TortoiseCVS 設定画面である。Windows の「スタート」 メニューから、「すべてのプログラム」「TortoiseCVS」「preferences」とメニューをたどり、開くことが出 来る。ここで「ツール」タブを開き、SSH parameters (ext only)を以下のように設定する。

-2 -i C:\proj\cvs\cvs.m\private.ppk -l "%u" "%h"

これは、TortoiseCVS がネットワークにアクセスするときの、プロトコル SSH2 RSA = -2 の設定および、プライベートキー private.ppk のある場所を指定するものです。

*	🎽 TortoiseCVS - オプショ	v 🛛
*	★ TortoiseCVS - オブション メイン ポリシー ツール 高調 差分ブログラム(型): 2方向差分のパラメータ(型): マージブログラム(M): 2方向マージのパラメータ(T): SSH application (ext: only): SSH parameters (ext: only):	
		OK キャンセル

図 5.1: TortoiseCVS の設定画面

5.5 ダウンロードモジュールの作成

つぎに実際にソースコードをダウンロードするフォルダーを決め、開きます。開いたところでフォルダウィ ンドウの「ファイル」メニュー「CVS」「モジュールの新規作成」を開き、現れたウィンドウの「モジュー ル」タブを開きます(図 5.2)。

開いたウィンドウを設定していきます。設定は表5.1のとおりです。

表 5.1: 設定内容

項目	設定内容
CVSROOT	:ext: [username]@cvs.sourceforge.jp/cvsroot/globalbase
プロトコル	セキュアシェル (:ext:)
サーバ	cvs.sourceforge.jp
ポート番号	[空白]
リポジトリフォルダ	/cvsroot/globalbase
ユーザ名	[username]
モジュール	gbs

[username] はあなたの sourceforge.jp のアカウント名となります。以上の設定を行い「ok」ボタンを押 すと、いま開いているウィンドウの中に、フォルダ gbs が生成されます。

5.6 モジュールの操作

設定後、モジュール名のフォルダ gbs を右クリックすると、CVS の操作メニューが現れます。

• チェックアウト

モジュール全体を sourceforge.jp からダウンロードしてきます。

🔗 TortoiseCVS -	モジュールの新規作成	×
モジュール オプション		
CVSROOT履歴 :ext:joshua@cvs.sou	rceforge.jp:/cvsroot/globalbase	
CVSROOT: :ext;josl	nua@cvs.sourceforge.jp:/cvsroot/globalbase	
לעבאם לי	セキュアシェル (ext)	
プロトコルのパラメータ:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
サーバ	cvs.sourceforge.jp	
ポート番号:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
リポジトリフォルダ:	/cvsroot/globalbase	
ユーザ名:	joshua 🗸	
モジュール: cvs.m	✓ 一覧の取得(E)	-
	OK キャンセル	

図 5.2: TortoiseCVS の設定画面

● アップデート

既にダウンロードされているモジュールを更新し、sourceforge.jpにあるものの最新にします。

● コミット

編集されたモジュールを sourceforge.jp ヘアップロード、マージします。



履歴

- 日時: 2007-11-04
 マニュアル生成。(2007-11-04 版)
- 2. 日時: 2007-07-22
 著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b16.10
 このマニュアルを新規作成
- 3. 日時: 2007-09-11
 - 著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b16.13 TortoiseCVS の記述を追加。